



第106号
(発行所)
 真宗大谷派
 松岡山 廣讚寺
 中村区城屋敷町3-30
 TEL (052) 411-5301
 FAX (052) 411-5341
 携帯 090-1568-4623
(E-mail)
 matsuka@kosanji.or.jp

門松は冥土の旅の一里塚
 めでたくもあり めでたくもなし

この言葉はあの有名な一休さんこと、一休宗純が残した言葉です。正月というと、おめでとうございます、と口々に言います。しかし本当に何がおめでたいのか、ということを考えてみると、ただ年月が経ったことを自覚させられることにすぎないような気がします。

子どものころは楽しくてワクワクしたお正月も、大人になり、さらに歳を重ねてくると正月ということに冷めてしまっているように思います。正月といっても、本当に正月だと真新しく感じるのは元旦くらいで、あとはいつの間にか時間が経ち、正月が終わっている。そんなことを毎年繰り返し返しているの、正月なんてこ

んなもんだと冷めているのだと思います。あと、日本の社会も変化し、正月らしくなくなってきました。年賀状も少なくなりましたし、羽子板なんて見かけることもなくなりました。子どもが集まりカルタ取りなんていうのも最近はどうなのでしょう。おそらく普段と同じようなゲームで遊んでいると思います。そして年中無休の店が増え、そうすると正月に働く人も増えてきました。正月が特別な日ではなくなってきています。正月はテレビをずっと見ていたらだとさすがだけで、正月なんてテレビの中だけの話だ、と言っていた人もいました。

一里塚の自覚すらもなくなるというのは何ともさみしいことです。やはり年が明けたらそれなりのことを感じたいものです。冥土は思っているより早く来ます。新年早々、そんなことを考えながら、今年一年、一日を大事に生きたいものです。

廣讚寺年間行事予定

(変更する場合があります)
もありません

1月

1日 10時 修正会

3月

20日 10時 彼岸永代経
(午前、勤行・法話・お齋)

23日 15時 彼岸勤行・法話
(午後、勤行・法話)

24日 15時 彼岸勤行・法話

25日 10時 女人講・報恩講
(勤行・法話・お齋)

4月

16日頃 同朋会旅行

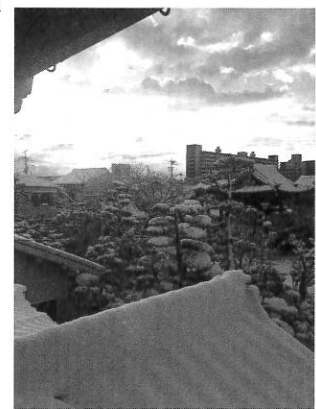
28日 10時 おみがき

5月

5日 10時 復興永代経

(午前、勤行・法話・お齋)

(午後、勤行・法話)



7月

23日頃 18時 納涼大会

(勤行後、屋台、人形劇、ビンゴゲームなど)

9月

9日 8時 境内大掃除 (掃除後お齋)

23日 10時 彼岸永代経

(午前、勤行・法話・お齋)

(午後、勤行・法話)

24日 15時 彼岸勤行・法話

25日 15時 彼岸勤行・法話

26日 15時 彼岸勤行・法話

28日 10時 二十八日講総会

(勤行・法話・お齋)



11月

28日 10時 おみがき

12月

1日 9時 報恩講準備（お斎後勤行）

2日 10時 報恩講

（午前、勤行・法話・お斎）

（午後、勤行・御伝紗拝聴）

3日 10時 報恩講

（午前、勤行・法話・お斎）

（午後、勤行・法話）

31日 23時半～24時半 初鐘

毎月の行事

第2土曜

19時30分 同朋会

（月によって時間がかわる場合あり）

19日 14時 学習会

28日 15時 二十八日講・女人講



あの世と予言

釋 綽智

最近、新聞の広告で『聞いてビックリあの世の仕組み』という少しショッキングな見出しの本が出版されたのをみつけ買って読んだ。

内容の目次は「死後の世界」「あの世とこの世をつなぐホットライン」「ついにわかった不思議な世界の方々の正体」とあり、寺などでよく聞く内容なのかと興味がわいた。読んでいく中にこの本の作者が先の東北大地震（2011.3.11）の予言をされて一躍有名になった方であることがわかった。すごい人ですね。予感の勘が当たったということです。私の勘などはいいい加減なものですが、途中で子宮の話が出てくるので、きっと女性らしい勘のよさが出たのでしょうか。とても文章がやさしく読みやすいです。もう一つ、人間は死なない、肉体が失くなったただで魂（霊）は生きています。

いうことが書いてありました。

親鸞聖人の悲嘆述懐和讃の一首

かなしきかなや道俗どうぞくの

良時吉日りようじ きちじつえらばしめ

天神地祇てんじん ぢぎをあがめつつ

ト占祭祀ぼくせんさいしつとめとす

【現代語訳】

僧侶も世俗の者たちも、良い時良い日に執とらわれて、天の神や地の神を崇あがめつつ、占いや祈りごとに余念がありません。なんと悲しいことなのでしょう。

予言が本当だったのか、たまたまだったのか、そんなことにとらわれてしまう私。明日起こるかもしれない大震災。それによって命を落とすかもしれない、そんなわが身なのだから今を大事に生きよと蓮如上人の白骨の御文には書かれております。

行事予定

一月一日(祝) 十時 修正会

十四日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(木) 二時～四時 学習会

二十八日(土) 十時 二十八日講・女人講

二月十一日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(日) 二時～四時 学習会

二十八日(火) 十時 二十八日講・女人講

【20組行事】

一月二十一日(土) ご命日の集い

法話・新年懇親会

〈会場〉 なごや花亭 美よし

〈時間〉 午後四時～七時

〈講師〉 伊藤 耕先生

〈参加費〉 四〇〇〇円(当日集金)

※参加希望の方は寺まで

二月十八日(土) 同朋大会